NEWS RELEASE

2026 年 2 月 5 日

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

フィッシュアイズームレンズ“RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM”を発売
世界初となる全周 190°をカバーする画角やドロップインフィルターに対応

キヤノンは「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、世界で初めて※1 全周 190°の画角をカバーするフィッシュアイズームレンズ“RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM”を 2026 年 2 月 20 日に発売します。

RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM

全周魚眼

対角線魚眼

“RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM”は、従来機種である「EF8-15mm F4L フィッシュアイ USM」（2011 年 7 月発売）以来、約 15 年ぶりにキヤノンが発売するフィッシュアイズームレンズです。全周 190°の迫力ある映像表現とズーム対応で柔軟な構図を実現する魚眼撮影機能に加え、「L（Luxury）」レンズならではの優れた描写性能、操作性、耐環境性、堅牢（けんろう）性を兼ね備えたレンズとして、ユーザーの創造性を広げる撮影体験を提供します。さらに、動画撮影の快適性を高めるドロップインフィルター※2 や 2D 180°VR 映像の撮影にも対応しており、多様な映像制作のニーズに応えます。

■ 世界で初めて全周 190°の画角をカバーするフィッシュアイズームレンズ

フルサイズカメラ装着時は全周魚眼※3 から対角線魚眼までの撮影、APS-C カメラ装着時は対角線魚眼での撮影が可能です。全周魚眼撮影では、水平・垂直ともに 190°の視野を収めることができ、被写体を円の中に配置したユニークな表現が可能です。従来機種から画角が 10°広がったことで、周囲の情報をより広く取り込み、特徴的な歪曲表現で迫力ある全周魚眼撮影を行うことができます。また、対角線魚眼撮影では、対角で 180°の広視野を撮影することができ、画面全体を広く使い、遠近感を生かしたダイナミックな表現が可能です。

■ ズーム全域での高画質な撮影を可能にする L レンズならではの優れた光学性能

「レプリカ非球面レンズ」2 枚、「UD レンズ※4」5 枚を含む 11 群 16 枚の光学設計により、広角端での開放 F 値 2.8 の大口径と画面全域での高画質を両立するとともに、ズーム全域で色収差を補正し、色にじみの少ない鮮明な描写を可能にしています。また、特殊コーティング技術「ASC（Air Sphere Coating）」により、画質劣化の原因となるフレア・ゴーストを低減しています。さらに、最短撮影距離 0.15m※5、最大撮影倍率 0.35 倍※5 での撮影が可能で、広い画角と遠近感を生かした表現力豊かなクローズアップ撮影を行うことができます。

■ 静止画撮影に加え動画撮影にも適した快適な操作性

優れた光学性能や多彩な機能を搭載しながら、従来機種と比較して、質量を約 540g から約 476g に軽量化しており、機動力を生かした撮影が可能です。また、静止画撮影での高速・高精度 AF、動画撮影での静かで滑らかな AF により、動きの激しい被写体でも快適に撮影することができます。さらに、ドロップインフィルターに対応しており、動画撮影に有用な可変 ND フィルターを使用することができます。加えて、リアフォーカスの採用により、フォーカスブリージングの発生を抑制しており、安定した構図での動画撮影が可能です。

※1　35mm フルサイズセンサーに対応するレンズ交換式カメラのレンズとして。2026 年 2 月 4 日現在。（キヤノン調べ）
※2　同梱の「ドロップイン クリアフィルター」（別売りの「ドロップイン クリアフィルター A」と同等品）／「ドロップイン 可変式 ND フィルター A」（別売り）／「ドロップイン 円偏光フィルター A」（別売り）を装着可能。必ず 1 つのフィルターを装着する必要があります。
※3　動画撮影時に全周魚眼撮影が可能なカメラ機種は、オープンゲート記録に対応する「EOS R6 Mark III」（2025 年 11 月発売）、「EOS C50」（2025 年 11 月発売）、「EOS C400」（2024 年 9 月発売）です。「EOS C400」はファームアップ（Ver.1.4.0.1 以降）が必要。2026 年 2 月 5 日現在。
※4　UD（Ultra low Dispersion=特殊低分散）ガラスを用いたレンズ。
※5　最短撮影距離 0.15mは、焦点距離 7-14mm、AF 時。最大撮影倍率 0.35 倍は、焦点距離 14mm、AF 時。

製品名	希望小売価格	発売日
RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM	オープン価格	2026 年 2 月 20 日

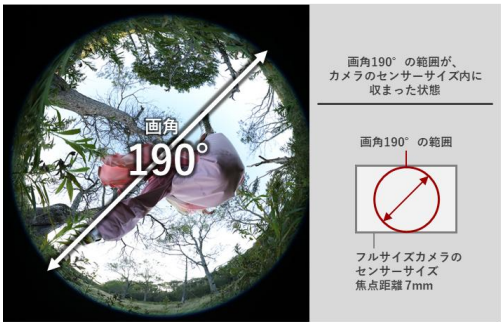
- 一般の方のお問合せ先　：キヤノンお客様相談センター　0570-08-0002（直通）
- EOS ホームページ　：canon.jp/eos/

〈“RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM”の特長〉

1） 世界で初めて全周 190°の画角をカバーするフィッシュアイズームレンズ

- フルサイズカメラ装着時は全周魚眼から対角線魚眼までの撮影、APS-C カメラ装着時は対角線魚眼での撮影が可能。
- 全周魚眼撮影では、水平・垂直ともに 190°の視野を収めることができ、被写体を円の中に配置して水滴やガラス玉の中に閉じ込められたようなユニークな表現が可能。従来機種から画角が 10°広がったことで、周囲の情報をより広く取り込み、特徴的な歪曲表現で迫力ある全周魚眼撮影を行うことが可能。
- 対角線魚眼撮影では、画面全体を広く使い、遠近感を生かした表現が可能。対角線方向に 180°の広視野があり、周辺部では距離感や形状をデフォルメしたダイナミックな表現が可能。
- 魚眼撮影にズーム機能を組み合わせることで、歪曲を生かした画角の変化を活用した表現が可能。特に動画撮影において、連続する画角の変化を生かしたダイナミックな映像を撮影することが可能。

全周魚眼撮影



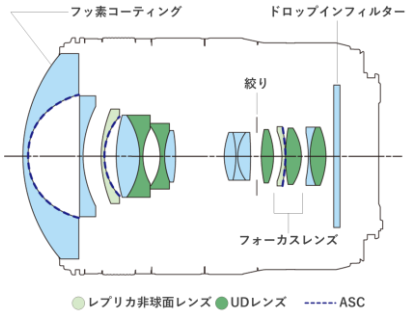
対角線魚眼撮影

※各焦点距離時の赤い円は、撮像面上でのイメージサークルの大きさ。赤い円の外側は、イメージサークル外でケラレになる領域。

2） ズーム全域での高画質な撮影を可能にする L レンズならではの優れた光学性能

- 「レプリカ非球面レンズ」2 枚、「UD レンズ」5 枚を含む 11 群 16 枚の光学設計により、広角端での開放 F 値 2.8 の大口径と画面全域での高画質を両立。さらに、ズーム全域で色収差を補正し、色にじみの少ない鮮明な描写が可能。
- 特殊コーティング技術「ASC（Air Sphere Coating）」により、画質劣化の原因となるフレア・ゴーストを低減。
- 広角端 F2.8、望遠端 F3.5 の明るい開放 F 値を生かし、シャッタースピードを速めることで暗所撮影にも好適。また、近接撮影では大きなボケを表現することが可能。
- 最短撮影距離 0.15m、最大撮影倍率 0.35 倍での撮影が可能。広い画角と遠近感を生かした表現力豊かなクローズアップ撮影が可能。
- ドロップインフィルターやマウント接合部、スイッチ、リングなどに防じん・防滴構造※を採用し、L レンズならではの耐久性・堅牢（けんろう）性を保持。不意に降りかかる砂じんや水滴の浸入を抑制。
- レンズ最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に取り除くことが可能。

※ 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、水滴やほこりの浸入を完全に防ぐものではありません。



“RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM”の
光学構成図（焦点距離 7mm 時）

広い画角と遠近感を生かした
クローズアップ撮影が可能

3） 静止画撮影に加え動画撮影にも適した快適な操作性

- 優れた光学性能や多彩な機能を搭載しながら、「EF8-15mm F4L フィッシュアイ USM」と比較して、質量を約 540g から約 476g に軽量化しており、機動力を生かした撮影が可能。
- フォーカス駆動用にリードスクリュータイプの STM（ステッピングモーター）と位置検出センサーを採用。静止画撮影での高速・高精度 AF、動画撮影での静かで滑らかな AF により、動きの激しい被写体でも快適に撮影することが可能。
- リアフォーカスの採用により、フォーカスブリージングの発生を抑制しており、安定した構図での動画撮影が可能。
- ドロップインフィルターに標準で対応しており、フィルター交換など撮影現場での操作性が向上。
- 別売りの「ドロップイン 可変式 ND フィルター A」（2019 年 2 月発売）使用時には、濃度を調整することで露出制御が可能となり、明るさが連続して変化する環境下での動画撮影や、表現に応じてシャッタースピードを柔軟に設定したい場面での撮影に好適。
- 別売りの「ドロップイン 円偏光フィルター A」（2019 年 2 月発売）使用時には、水面や光の反射を強力に低減して水中のディテールや木々の色を引き出したり、空や葉の色を鮮やかに表現したりすることが可能。

ドロップインフィルターに対応

4） 手軽に半球パノラマ映像（2D 180°VR 映像）の撮影が可能

- キヤノンの PC アプリ「EOS VR Utility※1」を使用することで、“RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM”で撮影した魚眼映像を、半球パノラマ映像（2D 180°VR 映像）に変換することができ※2、ヘッドマウントディスプレイや PC での VR 映像視聴が可能。
- 等距離射影方式を採用しており、画面の中心から等しい距離にあるオブジェクトが、すべて同じサイズで表示されるため、どの部分を半球パノラマ映像に変換しても、中心から周辺まで等しい空間分解能を保つことが可能。

※1 「EOS VR Utility」は静止画および 2 分以内の 180°VR 動画作成は無償でご利用いただけますが、2 分を超える 180°VR 動画の作成については有償となります。対応 OS は、Windows／macOS。対応バージョンについては、キヤノン公式ウェブサイトをご覧ください。

※2 “RF7-14mm F2.8-3.5 L FISHEYE STM”との組み合わせで 2D VR 映像に変換可能なカメラ機種は「EOS R5」（2020 年 7 月発売）／「EOS R5 Mark II」（2024 年 8 月発売）／「EOS R5 C」（2022 年 3 月発売）／「EOS R6 Mark II」（2022 年 12 月発売）／「EOS R6 Mark III」（2025 年 11 月発売）の 5 機種。2026 年 2 月 5 日現在。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノン公式ウェブサイトをご参照ください。

https://personal.canon.jp/product/camera/rf/rf7-14-f28-35l-fe

＊ Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

＊ macOS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。